

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 15日

事業所名 アニマト 名護 うむさの森

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			学習時と活動時でスペースを分けて使う	身体を動かす時などは、室内での制限がある為、戸外活動で公園などに行つて身体を動かす機会を作っている。
	2 職員の配置数は適切である		4		下校時間が重なる学校をまとめて回る。	適切な人員配置を行っていますが、送迎などで人員が少なくなることもあるため、より工夫をしていく必要がある。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2		児童の転倒防止等の配慮はできています。	施設構造上、全面バリアフリーは難しいが段差などを減らし安全面を確保していきたい。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			終了前のミーティングでその日の振り返りを行い、気になる点などを話し合っている	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			アンケートの結果を職員で話し合い結果を共有している。	聞かせて頂いた意見を、業務改善へとつなげていきたいです。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			ネット上公表をしています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		2	2		グループ法人で第三者委員会が設置されています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			オンラインで研修に参加をする。	オンライン研修を利用する等、コロナ禍に対応できる研修も取り入れています。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1		年1回のアセスメントと年2回のモニタリング、保護者面談を設けています。	タイムリーな情報共有を行い柔軟に対応できるような対策を講じて行きたい。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	2			標準化されたアセスメントツールは使用していませんがアセスメントシートで活用して職員間での話し合いを行っています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4			季節感を大切にイベントを行っています。	職員間で話し合い、月間の行事や日々の活動プログラム作成に取り組んでいます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			同じ活動が重ならないように、バリエーションを考えている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1		平日と休日とでは活動内容を変えています。	季節やその利用日の状況に応じて設定されているがより見通しを立てられるよう改善・工夫をしていきたい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4				定期的に状況確認や課題、支援方法等を、職員間で話し合い個別と集団活動の取り組み方を検討しています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			朝夕のミーティングで情報共有を行い、振り返りを必ず行っています。	朝、夕のミーティングでその日の打ち合わせを行い、支援内容、注意事項、送迎配置等について共有・確認をしています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4				朝は職員全員で必要事項の確認をしたり、療育開始前後には療育内容の確認と反省の時間を設けるようにしています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			個別活動では支援記録とは別に、記録をしています。	個別ごとにその日の活動内容や状況等を、支援内容や連絡帳へと記録、保管を行い今後の支援改善へとつなげています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			定期的なモニタリング・中間評価をする等見直しをしています。	最低半年に一度のモニタリングを行う情報を元に職員で話し合い短期、長期の目標内容を明確にして見直しを行っている。又必要に応じて見直しをしている。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4				職員一同で定期的に読み合わせをし、職員一同が総則を理解をするよう取り組んで行く。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	4			児童発達管理者が会議には参画しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	4		学校及び関係機関と の連携強化を行って います。行事等にも (運動会や参観日等) 積極的に参加をして います。	下校時間の確認や変更、行事についての確認をさせ て行けるように学校との連携を継続して行くようにす る。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている				該当者はいません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	4		都度必要に応じて情 報共有と相互理解を していきます。	相談員や保護者、各種関係機関と情報交換を継続し て行っていく。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	4			必要に応じて対応をしている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている		2	2		コロナ感染予防の為機会があまりなかったので今後必要 に応じて参加をしていきたいと思ひます
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	2	2			コロナ感染予防の為機会が少なかったが、公園等を活 用して交流し関わる機会がもてた。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	2	2			必要に応じて参加をしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	4				保護者とは連絡帳のやり取りや送迎時に気になること があった場合は、お伝えしたり必要な時は、電話・メ ールでお伝えをし共通理解をしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	2	2		日頃から保護者との小さなコ ミュニケーション多くとるよう心が け信頼関係を築いて行くように しています。	ペアレントトレーニングなどの支援は十分ではありません が、送迎時、電話、メール等でのツールを利用して保 護者の悩みに傾聴をして寄り添える支援を行っていま す。	
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	4				契約時保護者に対して重要事項説明書を使い、支援 内容、提供時間、利用者負担等について説明をしてい る。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	4				相談を受けた場合などは、職員間で話し合いを行い迅 速に対応をできるような心掛けしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している					コロナ感染予防の為今年度は未実地です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	4			意見箱を配置してい ます。	保護者からの苦情などがあった場合は、迅速にかつ丁 寧に対応をし今後の改善施策を保護者に電話や訪問 をして報告をしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	3		1		定期的に通信発行を行っている。
	35	個人情報に十分注意している	4				契約時に個人情報同意書に同意を頂き、年に1回保護 者に肖像権同意書を確認しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	3		1	子供の特性を把握し たうえで配慮をしてい ます。	利用児が伝えたいことをくみ取れない時もある為、工夫改善を していきたいです。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	2		2		イベントの時などは地域住民へとお願ひをして参加協 力をして頂いている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4				各種マニュアルを作成し研修を実施しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1			火災、地震、津波などを想定し訓練を実施していますが全利用者が参加することができて居ない為、全員が参加できるよう計画を立てていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			職員同士の情報の交流を行う	虐待防止のマニュアルを定期的に職員間で読み合わせたり、研修資料を取り寄せて虐待防止へと努めて行きたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1			身体拘束を行う利用者はいませんが必要に応じて児童や保護者に説明し、了解を得た上で個別支援計画にも記載をしていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4				アレルギーのある利用者さんには保護者からのヒヤリング、医師の指示所に基づき支援を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	2			ヒヤリハットを书面化にして迅速な対応を心掛け安全な事業所運営を行います。